

特集

インストラクショナルデザインを活かす

インストラクショナルデザインは、授業の設計図を描くのに効果的な方法です。教育の効果や効率を高めるためにさまざまなモデルを応用して、学習する環境を成立させるプロセスであるインストラクショナルデザインを用いれば、授業を良くする道のりがより見えやすくなります。

授業設計そのものは教員であれば誰しも行っていることですが、他の教育に関する取り組みと同様に、今までは指導者や先輩が行っていたことを真似る傾向から、なかなか脱することができなかったように思います。が、看護にエビデンスが求められるように、教育にもエビデンスが欠かせません。さまざまな手法やモデルを下敷きにしたインストラクショナルデザインは、その求めに応えられる1つの方策といえます。

本特集では、国内のインストラクショナルデザイン研究・開発の先端を走る熊本大学教授システム学研究センターの協力のもと、あらためてインストラクショナルデザインを一から紐解き、それを看護教育に活かすためのさまざまなアプローチを紹介します。授業設計の精度をより高める助けになれば幸いです。